

みやこ町図書館だより 2011秋

ふくろうの森通信

発行 2011年10月1日 第14号



としょかんで わくわくしよう!

今年の夏も、図書館では小学生を対象にした様々なイベントを行いました。チャレンジ教室では、アイスクリームやポンポンカーリングを作ったり、みんな楽しそうに作業に取り組んでいました。科学教室では、いろいろな実験に興味津々で見つめていました。

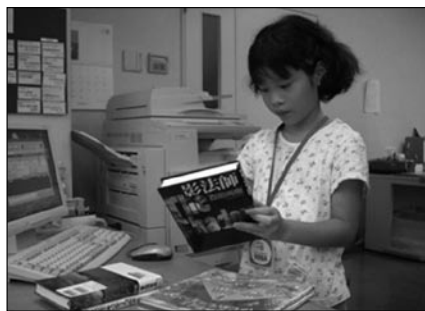
一日図書館員にも、たくさんの参加があり本の貸出・返却や簡単な修理などを体験しました。また、中央館で行った映画会にも多くの方々に参加いただきました。

【チャレンジ教室】



わくわく科学教室

【一日図書館員】



犀川図書館



ポンポンカーリング



アイスクリームをつくろう!



中央図書館



勝山図書館

8月からブックスタートが始まりました!



夏号で紹介したように、8月からブックスタートが始まりました。

図書館には、赤ちゃんからでも楽しめる絵本もたくさんあり、中央図書館と勝山図書館では、0才から2才くらいのお子さんを対象にしたおはなし会も行っています。ぜひ、図書館にも足を運んでください。



シリーズ 「作家探訪」 第2回 柳田 邦男

～プロフィール～

1936年栃木県鹿沼町(現 鹿沼市)に生まれる。1960年東京大学経済学部を卒業し、NHKに入局。遊軍記者として全日空羽田沖墜落事故、カナダ太平洋航空機墜落事故などを取材する。1972年、続発する航空機事故について書いた『マッハの恐怖』(フジ出版社、のち新潮文庫)で第3回大宅荘一ノンフィクション賞を受賞する。

また人間の生死や医療問題などにも関心を持ち、『ガン回廊の朝(あした)』を発表、同書で講談社ノンフィクション賞を受賞する。これ以降も癌、医師と患者などを描いた作品を書き続けている。その一方で、アメリカ・スリーマイル島の原子力発電所で起きた事故を取材して、『恐怖の2時間18分』を書いた。

1993年に次男が自殺を図ったのち、脳死状態となり、亡くなるという体験をもとにした『犠牲(サクリファイス) 一わが息子・脳死の11日』はその年の菊池寛賞を受賞した。

～近況～

今年5月、政府は福島第1原発事故の原因究明を行うために「事故調査・検証委員会」を発足したが、そのメンバーの一人として柳田氏が選ばれた。これは日航ジャンボ機墜落事故などの検証に取り組んだ氏の功績がかわれたものである。

また、福島県郡山市で始められた「郡山市震災後子どもたちの心のケアプロジェクト」に参加し、絵本の読み聞かせなどで被災した子どもたちの心のケアにも取り組んでいる。

～最近の著書～

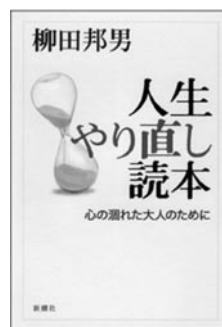
『コルチャック先生』
トメク・ボガツキ(著)
柳田 邦男(訳)
講談社(2011)



『僕は9歳のときから
死と向きあってきた』
新潮社(2011)



『人生やり直し読本』
新潮社(2010)



※この他の著書

- ・『雨の降る日は考える日にしよう〈絵本は人生に三度〉手帖1』
- ・『夏の日の思い出は心のゆりかご〈絵本は人生に三度〉手帖2』
- ・『悲しみの涙は明日を生きる道しるべ〈絵本は人生に三度〉手帖3』(いずれも平凡社2011刊) など多数。



～講演会～

みやこ町図書館では、柳田氏を招き講演会を行います。

日時：11月27日(日)

場所：サングレート・みやこ

講演タイトル：『言葉の力、生きる力』

※詳しくは、各図書館へお問い合わせ下さい。

としょかん司書お勧め ✓チェック本

～絆(きずな)～

【一般向け】

『あなたと共に逝きましょう』

村田 喜代子 (著) 朝日新聞出版



共に60代前半の夫婦。けんかして、旅行してという、ごく普通の日常を過ごしていた二人だが、心臓大動脈瘤という大病が夫を襲う。その時、妻はどんな事を考え、どういう行動をとるのか、妻の思いが語られている。(2009刊)

【一般向け】

『なずな』 堀江 敏幸 (著) 集英社



弟夫婦の子ども「なずな」を預かり、育てることになった中年男性。子育てや、仕事に孤軍奮闘するが、やがて近所の住民らから、様々なサポートを受けるようになる。その中で、今まで気づかなかった人と人との繋がりを感じるようになり…長編“保育”小説。(2011刊)

【児童向け】

『ともだちやもんな、ぼくら』

くすのき しげのり (作) 福田 岩緒 (絵)
えほんの杜

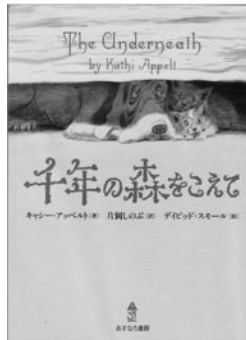


夏休みの朝、3人組はカブトムシを見つけた。大喜びで木に登ってつかまえようとするが、カミナリじいさんに見つかってしまう。必死に逃げるが、1人だけ逃げ遅れ…。さあふたりはどうするのか？ (2011刊)

【児童向け】

『千年の森をこえて』

キャシー・アッペルト (著) 片岡 しのぶ (訳)
デイビッド・スモール (絵) あすなろ書房



サビーン川の上流にうっそうとした森がある。そこに住む年老いた猟犬・レンジャーのもとに、捨てられた猫・キャリコが迷い込む。そこから千年にわたる不思議な物語が動き始める…。 (2011刊)



【質問】

小学低学年位の子どもの対象の、「嘘を戒(いまし)める」絵本を紹介して欲しい。

【回答】

低学年の子どもの対象ということで、あまり直接的でなく、やわらかい表現で、子どもが受け止めやすい絵本を選んでみた。

「ほんとうのことをいってもいいの？」パトリシア・C・マキサック (文) ジゼル・ポター (絵) BL出版

「おしゃべりなたまごやき」寺本 輝夫 (作) 長 新太 (絵) 福音館書店

「コップをわったねずみくん」なかえ よしを (作) 上野 紀子 (絵) ポプラ社

「子うさぎましろのお話」ささき たづ (文) みよし せきや (絵) ポプラ社

「オオカミがきた」 イソップ (原作) 蜂飼 耳 (文) ささめや ゆき (絵) 岩崎書店

図書館カレンダー



10月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

勝山図書館は蔵書点検のため10/4~8休館

11月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

12月28日(水)から1月4日(水)まで休館します

開館時間：10時から18時まで

休館日：毎週月曜日

毎月最終木曜日

(木曜日が祝日の場合翌日)

お問い合わせ

●みやこ町中央図書館

みやこ町豊津1122-12 ☎33-1040

●みやこ町犀川図書館

みやこ町犀川古川50 ☎42-3330

●みやこ町勝山図書館

みやこ町勝山黒田86-1 ☎32-3455

ホームページアドレス

<http://www.town.miyako.lg.jp/library/top.jsp>

本のある風景

豊津保育所

豊津保育所の園児たちは、中央図書館を2ヶ月に一回程度訪れ、本を借りていきます。保育所では毎日、帰る前に先生方が絵本や紙芝居の読み聞かせを行い、本に触れる機会を作っているそうです。年長、年中さんのクラスでは、字の読める子が中心になって、自分たちで毎日のように読み聞かせごっこをして楽しんでます。



おはなし会 あんない

【土曜日のおはなし会】

対象：3才くらいから

絵本の読み聞かせ、ストーリーテリング、紙芝居などをします。

●中央図書館 毎週土曜日 午後2時から

●犀川図書館 毎週土曜日 午後2時から

●勝山図書館 毎週土曜日 午後2時30分から

【ひよこのおはなし会】

対象：0才から2才くらい

絵本の読み聞かせ、わらべうた、手遊びなどで赤ちゃんと一緒にあそびます。

●中央図書館 第2・4金曜日 午前10時30分から

●勝山図書館 第1・3金曜日 午前10時30分から

編集後記

一番落ち着く季節といえば、やはり秋ですね。空気はさわやか、食欲も増し、夏の疲れを癒し、心も体も充実する時です。

今回の特集は、十一月二七日に講演会を開催するノンフィクション作家柳田邦男さんの紹介です。読書の秋ということで、ぜひ柳田邦男さんの著作に触れてください。

